

玉縄城まちだより

発行者: 玉縄城址まちづくり会議 荒井 章 ☎ 0467-45-7411 Ⓛ 247-0073 鎌倉市植木 425-16

E-mail artbank21@nifty.com URL <http://tamanawajo.sakura.ne.jp/>



鶴岡八幡宮 吉田茂穂官司



(年未詳)十一月七日



二通の鶴岡八幡宮文書

特集号インタビュー 鶴岡八幡宮吉田宮司に聞く

鎌倉武家文化を担つた後北条
玉繩城・玉繩北条六代

◆武士というと頼朝、鎌倉と主の為昌、綱成が、親の果

いうと頼朝といわれる。しかし武士道も鎌倉の武家文化も中世戦国期に後北条、玉縄北条氏が果たした事績抜きには語れない」として鶴岡八幡宮がつたこの大永、天文年間の吉田宮司は続けた。

武家、町衆、村人が一体になつて八幡宮再建に盛り上がったこの大永、天文年間

たせなかつた誓いの実現に十年以上の歳月をかけて取組みます。

を生き生きと伝えていきます。
ええ、今の鶴岡八幡宮は、あの時代の後北条、玉縄北条がなかつたら存在していませんよ。
皆さんのが玉縄城築城五百年祭を進めたことや、玉縄城と玉縄北条氏の再発見の奉仕活動を続けてることには注目していました。

◆鶴岡八幡宮の吉田茂穂宮司
はこのように話されました。
私たちには強い感銘を受け、
宮司の激励を必ず活動に生か
していくと固く決めました。

鎌倉武家文化普及啓発を掲
げ、文化庁「鎌倉・玉縄城址を
活かす歴史ミュージアム事業」
に力を注ぎます。また七曲坂や
太鼓櫓など玉縄城址を保全す
る汗かき奉仕を当会の基本動
作として継続します。

くり会議は、第十一回目の定時総会を開きました。この十年間の活動、それらはすべて多くの方々のご理解と協働に支えられたものでした。

「枯るる樹にまた花の木を植
ゑ添へてもとの都になしてこ
そみめ」と神前に和歌を奉納
し、荒廃しきつた当時の鎌倉
とその武家文化の象徴である
八幡宮再建を誓いました。
早雲の死後、これを受けつ
いだ氏綱、氏康そして玉縄城
の鎌倉武士の精神と武家文
化が育つていくのです。

こうして、頼朝に発し、後
北条が育て、徳川から現代
に流れているのが鎌倉武家
文化です。多くの八幡宮文
書や快元僧都記がそのこと

残念ながらまだ十分に認知されているとはいえない、鎌倉のなかの玉縄城、そして鎌倉武家文化を担つた玉縄北条氏の存在を、まずは鎌倉の市民に堂々と伝えてください。

お蔭様にて、玉縄城址まちづくり会議は、第十一回目の定時総会を開きました。この十年間の活動、それらはすべて多くの方々のご理解と協働に支えられたものでした。

いだ氏綱、氏康そして玉繩城　書や快元僧都記がそのこと
宮司　(年未詳)十一〇
綱

鶴岡ノ岬宮は 貴会に機力して
いきます。

玉縄坂主菩提寺である前寶寺、城址が校内にある清泉女学
院、また七曲坂、太鼓櫓市民緑地には地権者の深いご理解が
ありました。玉縄自治町内会連
合会の協力、市との協働、民間

ありました。玉繩自治町内会連合会の協力、市との協働、民間財団からの助成も受けました。◆私たちは深甚の感謝を捧げ、そしてあらたな協働を呼び掛けます。鎌倉武家文化の一翼を担つた玉繩城・玉繩北条の普及啓発をめざして。
(荒井 章)

<平成28年度文化事業報告>



遺構群報告冊子



「玉縄城七つの謎」を解く三人



遺構群調査パネル展



相模陣の下から出た「城主の館」

2017年(平成29年) 7月7日発行 第19号
平成28年度文化芸術振興費補助金「鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業」及び協働事業とイベント事業

文化庁

- ◆文化庁事業
 - 〈甦る！玉縄城七つの謎を解く〉をテーマに①学術調査を進め②報告書冊子を刊行しました。
 - ◆早雲の玉縄城とは？
 - 氏時、為昌、綱成の玉縄城とは？
 - を掲げ、大竹正芳が「玉縄城・城域図」を描き、玉林美男と三回、西側遺構群調査を行いました。これにより初期の玉縄城は二伝寺砦の可能性が浮上。尾根と谷戸を結ぶ城のイメージを捉えて、玉林は「最初の玉縄城は鎌倉街道上之道を城に取り込む構造だった」と初期城郭の姿を提起しました。
 - ◆これらを遺構群学術研究冊子二十ページに編集し刊行。市民、行政、学校に頒布した結果、極めて大きな反響を積めました。
- ◆③シンポジウム④パネル展
 - 〈甦る！玉縄城七つの謎を解く〉
 - 城郭史の大竹正芳、考古学の玉林美男、歴史学の伊藤一美が各自異なる視点から謎の解明に当りました。
 - ・初期の玉縄城の謎・六代城主と玉縄城の謎・「城主の館」の謎
 - ・玉縄城主、文武の才能の謎
 - ・「ここからわかつたのは早雲の玉縄城、綱成の玉縄城、家康の玉縄城、各々の違いでした。
 - ・大竹、玉林は足で確かめ、伊藤は中世戦国史から俯瞰して玉縄城を読み解きました。後北条氏の関東制覇で常に先頭に立ち戦闘に外交にそして文芸にも優れる文武両道の六代城主のことが語られました。
 - ◆陣屋坂の江戸期遺構下から出土した大規模な池や建造物が「城主の館」との推論も検証しました。

- ◆鎌倉市市民提案協働事業
 - 〈戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業〉
 - ・豊臣秀吉朱印状のデジタル化
 - ・玉縄城跡遺構発掘報告書の資料のデジタルデータ化
 - ・「玉縄城・城域図」、「玉縄城中心部旧状図」、「西南部概要図」の作図
 - ・城址探索会とセミナー『相模陣の発掘調査』『発掘から見えた玉縄城の実像とは』を実施。発掘者の齊木秀雄氏は、江戸期の相模陣の下から出土した広大な池跡について、玉縄北条氏の財力と充実期の土木技術を示す。
 - その場所とスケールから「城主の館」の可能性があるとしました。
 - ・文献から六代城主の再発見を進めたい。

(荒井幸子)
- ◆イベント事業成果（九～三月）
 - ・重要文化財古民家イベント
 - ・チャリティ演奏会
 - 《ギターと歌曲のひととき》



十月一十九日(土)

龍寶寺本堂と広場

- ◆イベント事業成果（九～三月）
 - ・法要導師・梅田良光住職
 - ・歴史講話・伊藤一美
 - ・奉納古武道演武・赤羽根大介
 - ・玉縄かるさと館イベント
 - ・小学生の昔の暮し体験学習
 - ・鎌倉市の小学三年生が、火吹き竹やモツコ担ぎ、綿の実繕りを体験、一ヶ月に一〇〇人来館し昔の暮らしを楽しんだ。市民学芸員百人で対応。



初夏の硝薬蔵と堀切



植木小学校 6年生の環境学習

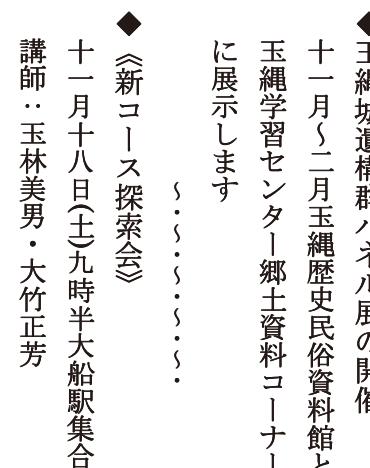


玉縄中学校 3年生の環境学習



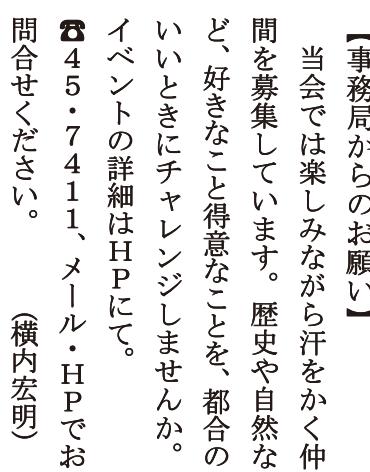
玉縄城址での祭り

- ・市民緑地「太鼓櫓址」の整備保全
- ・植木一号市民緑地の開設以来、清掃とともに野草や果樹・花木の手入れを続けて五年になりました。
- ・硝薬蔵「美しい竹林」整備
- ・市民緑地から見下ろす硝薬蔵址は、典型的な堀切、緑に包まれた快適平場、美しい竹林が一体となつた魅力
- ・スポーツに変身中です。
- ・次世代の環境教育
- ・史跡で行うボランティア体験は、環境学習として貴重ですが、よき思い出ともなるでしょう。

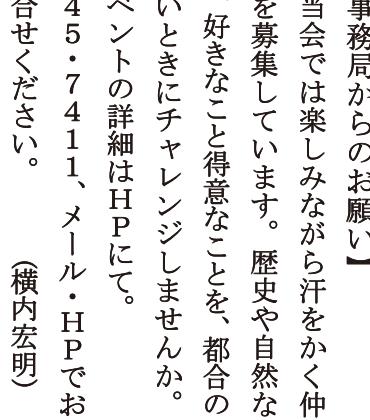


玉縄城址遺構群パネル展

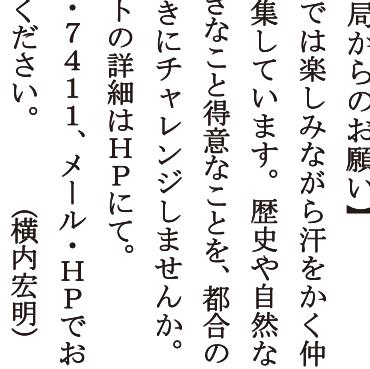
- ◆小田原北條五代祭り参加
- ◆鎌倉市代表として五月三日、北条早雲の次男、初代玉縄城主北条左馬之助氏時隊としてパレード。五年連続の登場に応援の声も賑やかでした。
- ◆植木一号市民緑地「太鼓櫓址」
- ◆「七曲坂」アダプトと周辺整備
- ◆玉縄城址歴史民俗資料館と玉縄学習センター郷土資料コーナーに展示します
- ◆《新コース探索会》
- ◆十一月～二月玉縄城址歴史民俗資料館と玉縄学習センター郷土資料コーナーに展示します
- ◆《新コース探索会》
- ◆十一月十八日(土)九時半大船駅集合



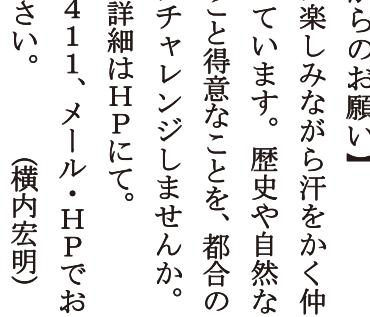
玉縄城址の野草



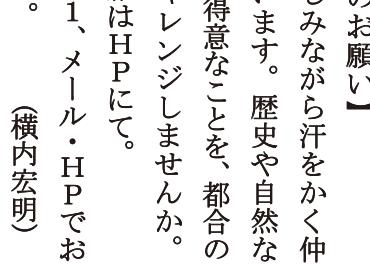
玉縄城址の野草



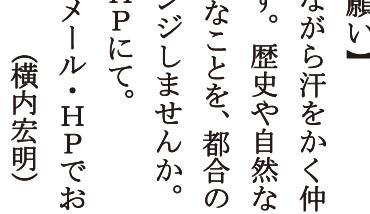
玉縄城址の野草



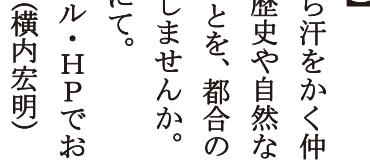
玉縄城址の野草



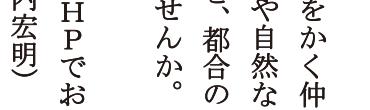
玉縄城址の野草



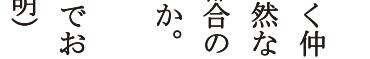
玉縄城址の野草



玉縄城址の野草



玉縄城址の野草



玉縄城址の野草



玉縄城址の野草



玉縄城址の野草

玉縄城址の野草

